DVM-D16FBの仕様

最新の情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）をご参照ください。

■対応メディア

本製品は、次のメディアに対応しています。

メディアの種類	書き込み	読み出し
DVD-R（1層）（*1）	最大16倍速（*2）	最大10倍速（*2）
DVD-RW（*1）	最大4倍速（*2）	最大6倍速（*2）
DVD+R（1層）（*1）	最大16倍速（*2）	最大10倍速（*2）
DVD+R（2層）（*1）	最大4倍速（*2）	最大6倍速（*2）
DVD+RW（*1）	最大4倍速（*2）	最大6倍速（*2）
DVD-ROM（1層）	—	最大16倍速（*2）
DVD-ROM（2層）	—	最大6倍速（*2）
DVD-Video（1層、2層）（CSS）（*3）	—	最大6倍速（*2）
CD-R（*1）	最大40倍速（*2）	最大40倍速（*2）
CD-RW（*1）	最大24倍速（*2）	最大24倍速（*2）
CD-ROM	—	最大40倍速（*2）

*1　メディアご購入の際に、必ず対応書き込み速度をご確認ください。メディアによって対応書き込み速度は異なります。
*2　パソコンがDMA転送に対応していない場合、CDでは最大20倍速、DVDでは最大2.3倍速となります。
*3　リージョンコード（地域コード）が「2」や「フリー」のDVD-VIDEOのみ再生してください。それ以外のDVD-VIDEOは再生しないでください。
*4　デジタル再生に対応したプレーヤー(Windows Media Player 7以降など)で再生してください。
*5　パソコンで再生する場合は、再生ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。オーディオ機器で再生する場合は、オーディオ機器がCD TEXTに対応している必要があります。

■動作環境

温度：5～35℃　　湿度：20～80%（結露なきこと）

■最大消費電力

25W以下

■必要なパソコン環境

メディアへの書き込みには、次のDOS/Vパソコン(OADG仕様)、またはPC98-NXシリーズが必要です。

・CPU　　PentiumⅢ450MHz以上(PentiumⅢ800MHz以上推奨)
　*ビデオキャプチャ時にはPentiumⅢ800MHz以上が必要です。

・メモリ　128MB以上(推奨256MB以上)

・データ転送方式 DMA転送推奨
　*DMAモード以外の転送方式(PIOモード)ではCPUへの負荷が大きいため、DVD-Video再生時にコマ落ち、音飛びが発生することがあります。

・グラフィック 解像度1024×768ドット以上、High Color(16ビット)色以上

・ハードディスク空き容量 インストール時に約630MB、作業領域として空き容量5GB以上(20GB以上推奨)

■書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したメディアは次のとおりです。以下に記載のメディア以外を使用した場合、メディアの品質により正常に書き込みができないことがあります。また、書き込みを行う際は、書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

※最新の情報は弊社ホームページ(buffalo.jp)から「対応情報」→「DVDドライブ対応メディア一覧」の順にクリックすると表示されます。

※全ての環境において以下の書き込みを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

DVD-R（1層）	16倍速メディア	三菱化学、ソニー、TDK、日立マクセル
	8倍速以下のメディア	太陽誘電（That's）、日立マクセル、TDK、三菱化学
DVD-RW	4倍速メディア	日本ビクター、三菱化学、TDK
	2倍速以下のメディア	日本ビクター、三菱化学、TDK、日立マクセル
DVD+R（2層）	2.4倍速メディア	三菱化学（★）、リコー
DVD+R（1層）	16倍速メディア	三菱化学、日立マクセル、太陽誘電（That's）、ソニー
	8倍速以下のメディア	太陽誘電（That's）、日立マクセル、リコー、TDK、三菱化学
DVD+RW	4倍速メディア	三菱化学、リコー
	2倍速以下のメディア	三菱化学、リコー、TDK、日立マクセル
CD-R		太陽誘電（That's）、TDK、日立マクセル、三菱化学、リコー
CD-RW		TDK、日立マクセル、三菱化学、リコー

<メモ> ・弊社では(★)マークがついた2.4倍速DVD+R(2層)メディアにて4倍速の書き込みが可能なことを確認しております。これは、弊社にて書き込み確認を行ったものですので、メディアメーカへのお問い合わせはご遠慮ください。